

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
公衆栄養学演習		塩原 明世	演習	2	後期
必修・選択	修了要件	選択必修			
	資格要件				
学習目標	食と健康に関わる専門職業人として必要な実践的知識・技能および勤労観・職業観、就業力を身につけることを目的とし、公衆栄養活動におけるマネジメントプログラムの実際をシミュレーションする。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	公衆栄養の歴史	公衆栄養学の必要性および管理栄養士・栄養士の役割について			
2	公衆栄養学の概念	WHO 憲章、生態系と食料・栄養、食物連鎖その他の要因をふまえた公衆栄養活動について			
3	公衆栄養マネジメント	マネージメントサイクル、ヘルスプロモーション、プリシード・プロシードモデルについて			
4	公衆栄養アセスメント	社会におけるニーズの把握、社会調査法について			
5	食事摂取基準の活用	食事摂取基準の公衆栄養活動における活用について			
6	栄養疫学（1）	栄養疫学の概要、暴露情報としての食事摂取量の測定方法について			
7	栄養疫学（2）	栄養疫学の概要、暴露情報としての食事摂取量の測定方法について			
8	公衆栄養プログラム計画	公衆栄養プログラムの計画策定、コミュニティー・オーガニゼーション等について			
9	公衆栄養プログラムの目標設定	短期、中期、長期目標の設定、基準値、予測値の決定と目標値の設定			
10	公衆栄養プログラム実施（1）	地域社会資源の管理、コミュニケーションの管理、プログラム実施と関係者・機関の役割について			
11	公衆栄養プログラム実施（2）	公衆栄養活動に際して、必要な日本の人口減少社会をデータから解読			
12	公衆栄養プログラム評価	公衆栄養プログラムを評価し、次の計画立案につなげる手法について			
13	わが国の健康・栄養問題	国民健康・栄養調査の目的、沿革について			
14	わが国の栄養政策	わが国の栄養政策について			
15	諸外国の健康・栄養問題	先進国・開発途上国の現状および問題点、諸外国の栄養政策について			
参 考 書	田中平三他 「健康栄養科学シリーズ 公衆栄養学」 南江堂 2010				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	データを用いながらの演習形態をとる。課題作成に際し積極的学習態度が望まれる。				
評価の方法と時期	課題レポート、授業態度により評価する。				